

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(注意) 計算はすべてその問題の余白に書き、消さないでおきなさい。
円周率を用いるときは π として計算しなさい。

① 次の計算をしなさい。

(1) $(-3^2) \times 1^2 - (-2)^2 \times 2 = \boxed{-17}$
 $-9 \times 1 - 4 \times 2 = -9 - 8 = -17$

(2) $6a^2b^3 \div \frac{2}{3}a^3 \times \frac{1}{9}ab = \boxed{b^4}$
 $6a^2b^3 \times \frac{3}{2a^3} \times \frac{ab}{9} = b^4$

(3) $\frac{1}{2}(3x-2) - \frac{1}{3}(2x+1) = \boxed{\frac{5x-8}{6}}$ $(\frac{5}{6}x - \frac{4}{3})$
 $\frac{3(3x-2) - 2(2x+1)}{6} = \frac{9x-6-4x-2}{6} = \frac{5x-8}{6}$

(4) $(\sqrt{6}-\sqrt{2})^2 = \boxed{8-4\sqrt{3}}$
 $(\sqrt{6})^2 - 2 \times \sqrt{6} \times \sqrt{2} + (\sqrt{2})^2 = 6 - 4\sqrt{3} + 2 = 8 - 4\sqrt{3}$

② 次の問いに答えなさい。

(1) 連立方程式 $\begin{cases} 2x-y=5 \dots\dots\dots ① \\ y=3x-1 \dots\dots\dots ② \end{cases}$ を解きなさい。

②を①に代入 $2x - (3x-1) = 5$
 $-x+1=5 \quad x=-4$

②に代入 $y = 3 \times (-4) - 1 = -13$

$x = \boxed{-4}, y = \boxed{-13}$

(2) 等式 $S = \frac{1}{2}(a+b)h$ を a について解きなさい。

$\frac{1}{2}(a+b)h = S$
 $(a+b)h = 2S$
 $a+b = \frac{2S}{h} \quad a = \frac{2S}{h} - b$
 $a = \boxed{\frac{2S}{h} - b}$

(3) $2 \leq \sqrt{x} \leq 5$ を満たす整数 x は何個あるか求めなさい。

$4 \leq x \leq 25 \quad 25 - 4 + 1 = 22$
 $\boxed{22}$ 個

(4) $x+y=6, xy=2$ のとき、 x^2+y^2 の値を求めなさい。

$x^2 + 2xy + y^2 = (x+y)^2$
 $x^2 + 2 \times 2 + y^2 = 6^2$
 $x^2 + y^2 + 4 = 36$
 $x^2 + y^2 = 32$
 $\boxed{32}$

(5) 2次方程式 $x^2-5x+a=0$ の解の1つが4のとき、 a の値ともう1つの解を求めなさい。

$x=4$ を代入 $16-5 \times 4+a=0$ より $a=4$
 $x^2-5x+4=0$ を解く $(x-1)(x-4)=0$ より $x=1, 4$

$a = \boxed{4}$, もう1つの解 $\boxed{1}$

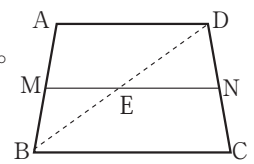
(6) グラフが、2点 $(-2, 5), (3, 0)$ を通る1次関数の式を求めなさい。

直線の式を $y=ax+b$ とする
 $(-2, 5)$ を代入 $-2a+b=5$
 $(3, 0)$ を代入 $3a+b=5$

これを解いて $a=-1, b=3$

$\boxed{y=-x+3}$

(7) $AD \parallel BC$ である台形 $ABCD$ において、 M, N はそれぞれ辺 AB, CD の中点である。
 $AD = 10 \text{ cm}, BC = 13 \text{ cm}$ であるとき、線分 MN の長さを求めなさい。



線分 BD をひき、 MN との交点を E とする

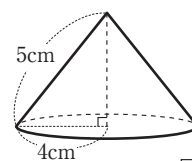
中点連結定理より $ME = 10 \times \frac{1}{2} = 5$

$EN = 13 \times \frac{1}{2} = 6.5$

$5 + 6.5 = 11.5$

$\boxed{11.5}$ cm

(8) 底面の半径が 4 cm で、母線の長さが 5 cm の円錐の体積と表面積を求めなさい。円錐の高さを $h \text{ cm}$ とすると



三平方の定理より $h^2 + 4^2 = 5^2 \quad h > 0$ より $h = 3$

体積は $4^2 \pi \times 3 \times \frac{1}{3} = 16\pi$

表面積は $5^2 \pi \times \frac{4}{5} + 4^2 \pi = 20\pi + 16\pi = 36\pi$

体積 $\boxed{16\pi}$ cm^3 , 表面積 $\boxed{36\pi}$ cm^2

(9) 縦の長さ と 横の長さ の比が $2:3$ で、周の長さが 20 cm の長方形の面積を求めなさい。

縦の長さ $20 \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{5} = 4$ 横の長さ $20 \times \frac{1}{2} \times \frac{3}{5} = 6$

面積は $4 \times 6 = 24$

$\boxed{24}$ cm^2

③ ある店では、入会金 300 円を払って会員になると、その店のすべての商品が定価の 10% 引きで購入できるサービスがある。

トキ子さんは会員になり、ある商品を 11 個購入した。松子さんは会員にはならず、同じ商品を定価で 10 個購入したところ代金が松子さんと同じになった。

(1) この商品1個の定価を x 円として、方程式をつくりなさい。

$\boxed{300 + 0.9x \times 11 = 10x}$

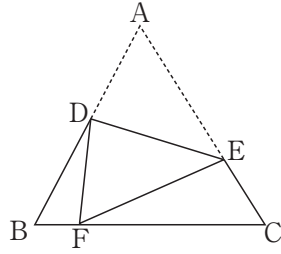
(2) 方程式を解いて、商品1個の定価を求めなさい。

$300 + 9.9x = 10x$
 $-0.1x = -300$
 $x = 3000$

$\boxed{3000}$ 円

受験番号		氏名	
------	--	----	--

④ 右の図のように、正三角形ABCを、頂点Aが辺BC上の点Fと重なるようにDEを折り目として折り返した。



(1) このとき、 $\triangle BFD \sim \triangle CEF$ であることを証明した。

空欄をうめて証明を完成させなさい。

[証明]

$\triangle BFD$ と $\triangle CEF$ において、 $\triangle ABC$ は正三角形であるから、

$\angle DBF = \angle$ FCE $= 60^\circ \dots\dots ①$

BCは一直線であるから、 $\angle BFD + \angle DFE + \angle CFE =$ 180 $^\circ$

$\angle DFE =$ 60 $^\circ$ なので、

$\angle BFD = 120^\circ - \angle$ CFE $\dots\dots ②$

また、 $\triangle CEF$ において、 $\angle CEF + \angle CFE =$ 120 $^\circ$ なので

$\angle CEF = 120^\circ - \angle$ CFE $\dots\dots ③$

②、③より

\angle BFD $= \angle$ CEF $\dots\dots ④$

①、④より、2組の角がそれぞれ等しい から
 $\triangle BFD \sim \triangle CEF$

(2) $BF = 3\text{cm}$, $BD = 8\text{cm}$, $DF = 7\text{cm}$ のとき、次のものを求めなさい。

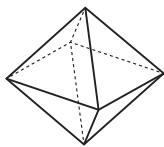
① $\triangle BFD$ と $\triangle CEF$ の相似比

$\triangle ABC$ の1辺の長さは
 $BD + DF = 15$ (cm) 2 : 3
 $CF = 15 - 3 = 12$ (cm)
 $BD : CF = 8 : 12 = 2 : 3$

② 線分CEの長さ

$3 : CE = 2 : 3$
 $2CE = 9$ 9/2 cm
 $CE = \frac{9}{2}$

⑤ 1辺の長さが6cmの正八面体について、次のものを求めなさい。



(1) 表面積

$6 \times 3\sqrt{3} \times \frac{1}{2} \times 8 = 72\sqrt{3}$ 72\sqrt{3} cm^2

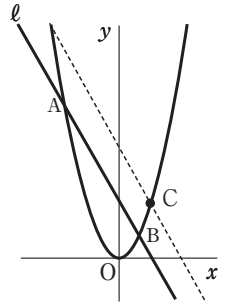
(2) 正八面体の隣り合わない頂点どうしの距離

6\sqrt{2} cm

(3) 体積

$6 \times 6 \times 3\sqrt{2} \times \frac{1}{3} \times 2 = 72\sqrt{2}$ 72\sqrt{2} cm^3

⑥ 放物線 $y = ax^2$ と、この放物線上の点A(-2, 8)を通り、傾きが-2である直線 l がある。



(1) a の値を求めなさい。

$a \times (-2)^2 = 8$
 $4a = 8 \quad a = 2 \quad a =$ 2

(2) 直線 l の式を求めなさい。

$y = -2x + b$ とする
 $(-2, 8)$ を代入 $4 + b = 8$ より $b = 4$
 $y =$ -2x + 4

(3) この放物線と直線 l との点A以外の共有点Bの座標を求めなさい。

$2x^2 = -2x + 4$
 $x^2 + x - 2 = 0$
 $(x + 2)(x - 1) = 0$
 よって点Bは $x = 1$ 1, 2

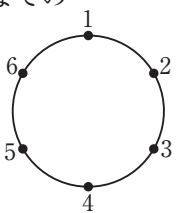
(4) $\triangle ABO$ の面積を求めなさい。

$4 \times 2 \times \frac{1}{2} + 4 \times 1 \times \frac{1}{2} = 4 + 2 = 6$ 6

(5) $\triangle ABO = \triangle ABC$ となるように、放物線上の $x > 0$ の部分に点Cをとる。点Cの x 座標を求めなさい。

放物線 $y = 2x^2$ と直線 $y = -2x + 8$ の交点がC
 $2x^2 = -2x + 8$
 $x^2 + x - 4 = 0$
 $x = \frac{-1 \pm \sqrt{17}}{2}$ $x > 0$ より $x =$ \frac{-1 + \sqrt{17}}{2}

⑦ 右の図のように、円周を6等分した点に1から6までの番号がつけられている。1個のさいころを3回投げ、出た目と同じ数字の点を順にA, B, Cとする。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) さいころの目が、順に2, 3, 6だったとき、 $\angle ABC$ の大きさを求めなさい。

60 $^\circ$

(2) 1回目に投げたさいころの目が1だった場合、あと2回さいころを投げるときの次の確率を求めなさい。

① $\triangle ABC$ が正三角形になる。
 (中, 小) = (3, 5), (5, 3)
 $\frac{2}{36} = \frac{1}{18}$ 1/18

② $\triangle ABC$ が直角三角形になる。
 (中, 小) = (2, 4), (2, 5), (3, 4), (3, 6), (4, 2), (4, 3), (4, 5), (4, 6), (5, 2), (5, 4), (6, 3), (6, 4)
 $\frac{12}{36} = \frac{1}{3}$ 1/3